

2021 年度 事業報告

全国科学館連携協議会（連携協）は、地域における科学技術普及の拠点である科学館等の連携促進を図り、科学館事業の振興に寄与することを目的として設立され、各種連携活動を展開しています。

2021 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策を講じた活動としたため、前年同様事業内容の変更がありました。主な実施事業を以下に示します。

1. 協議会運営

1-1. 2021 年度加盟会員数

192 館（2022 年 3 月 31 日現在）

内訳：正会員 171、協力会員 18、協賛会員 3

[新規加盟]（5 団体）

（正会員）

- ・堺市立ビッグバン
- ・横岳自然公園
- ・DENZAI 環境科学館

（協力会員）

- ・株式会社リバネス
- ・株式会社宇宙の城

[退会]（4 団体）

（正会員）

- ・磐梯山噴火記念館
- ・裾野市富士山資料館
- ・能代エナジウムパーク
- ・長野市少年科学センター

1-2. 会議の開催

(1) 第 31 回全国科学館連携協議会幹事会

2021 年 6 月 17 日（木）にオンライン形式で行い、次の事項を確認しました。

（出席：会長 1 名、副会長 2 名、監事 2 名、ブロック幹事 10 名、事務局長 1 名、事務局 3 名）

[議事]

- ・2021 年度役員について
- ・2020 年度事業報告(案)および決算報告(案)について
- ・2021 年度事業計画(案)および予算計画(案)について

[協議]

- ・大規模災害等発生時の相互連携について

- ・次年度以降の幹事会及び総会の開催方法について

(2) 第 30 回全国科学館連携協議会総会

2021 年 6 月 17 日（木）にオンライン形式で行い、次の事項を確認しました。

[議事]

- ・2021 年度役員について
- ・2020 年度事業報告(案)および決算報告(案)について
- ・2021 年度事業計画(案)および予算計画(案)について

[報告]

- ・ブロック活動報告
- ・巡回展示物助成事業報告

2. 加盟館連携推進

2-1. 巡回展示物等貸与支援

加盟館を対象に、下記 25 種類の巡回展示物および 5 種類の実験キットの募集を行い、2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で調整・貸出を行いました。

[巡回展]

- ・ **【新規】** 宇宙をさわる（2 館）
- ・ **【新規】** はやぶさ 2 のミッションにチャレンジ！（2 館）
- ・ **【新規】** かるたでよみとく わたしと世界のつながり（4 館）※データ提供含む
- ・ **【新規】** 史上初有人宇宙飛行 60 周年記念にあたってガガーリン星への道（9 館）※データ提供含む
- ・ 環境 DNA 博士と、水辺の生き物を調査せよ！（5 館）※データ提供含む
- ・ 新しい感染症との向き合い方 『わかんないよね 新型コロナ』（14 館）※データ提供
- ・ 海と生きものとわたしたち ～3.11 からの復興をめざして～（4 館）※データ提供含む
- ・ 急変する北極が世界にもたらす影響と日本の北極研究の取組み—Our activity in the Arctic—（2 館）※データ提供
- ・ こちら「はやぶさ 2」運用室 漫画版（10 館）※データ提供含む
- ・ 金星探査機「あかつき」（8 館）※データ提供含む
- ・ いのちってなに？（10 館）※データ提供含む
- ・ 星座展～ギリシャ神話からキトラ古墳まで～（4 館）
- ・ ケミカルパズル&ケミカルすごろく—化学物質と上手につきあおう—（5 館）
- ・ 潜水調査船がみた深海生物（8 館）
- ・ 星の衝突で、何ができた？（3 館）※データ提供
- ・ 「錯視」で生活に潤いを（7 館）
- ・ SDGs（持続可能な開発目標）クイズボード（5 館）
- ・ 日本の宇宙科学の歴史（8 館）

- ・ 62の「月」が織りなす多彩な世界—土星探査機「カッシーニ」が見た リングと衛星群—
(3館) ※データ提供
 - ・ 2014年ノーベル賞 (1館) ※データ提供
 - ・ 2015年ノーベル賞 (1館) ※データ提供
 - ・ 2016年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
 - ・ 2017年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
 - ・ 2018年ノーベル賞 (0館) ※データ提供
 - ・ 2019年ノーベル賞 (1館) ※データ提供
- 延べ116館 (内3件は新型コロナウイルス感染防止のため中止)

[実験キット]

- ・ 実験キット「マッスル・センサー」 (2館)
- ・ 実験キット「超伝導」 (3館)
- ・ 実験キット「教育ブロックIQ KEY レーシングカー編」 (2館)
- ・ 実験キット「顔の記憶」 (企画・製作：日本基礎心理学会) (0館)
- ・ 実験キット「スマホ顕微鏡で植物プランクトンを観察してみよう」 (企画・製作：日本科学未来館) (0館)

延べ7館

2-2. 事業への後援

加盟館および関係機関が実施する事業で、連携協の設立趣旨に合致する事業に対し、後援や協力および会長メッセージ送付を行いました。

[後援] (5件)

- ・ 青少年のための科学の祭典2021 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団
- ・ 千葉県科学フェスタ2021 主催：千葉県科学館
- ・ 北海道立オホーツク流氷科学センター令和3年度企画展「紋別の星～100万の星空体験～」
主催：北海道立オホーツク流氷科学センター
- ・ 静岡科学館企画展「ナカミとシクミの世界」 主催：静岡科学館
- ・ 第63回科学技術映像祭 主催：公益財団法人日本科学技術振興財団

[協力] (1件)

- ・ 特別企画「超人たちの人体」地域展開

[メッセージ] (1件)

- ・ 徳島県立あすたむらんど開園20周年

2-3. ブロック会議の実施

ブロック会議開催にあたっては感染拡大防止の観点をもふまえ、8ブロック幹事と開催方法の相談を行い、2021年度は全ブロック会議がオンラインで開催しました。

- ・ 北海道ブロック会議

開催日時：2021年11月30日(火) 10:30～12:00

- 開催方法：オンライン会議
参 加：10 館
- ・東北ブロック会議
開催日時：2022年2月25日（金）14:00～15:30
開催方法：オンライン会議
参 加：12 館
 - ・北信越ブロック会議
開催日時：2022年2月3日（水）13:00～14:10
開催方法：オンライン会議
参 加：10 館
 - ・関東ブロック会議
開催日時：2022年2月3日（木）15:00～17:00
開催方法：オンライン会議
参 加：20 館
 - ・東海ブロック会議
開催日時：2022年1月21日（金）13:30～17:00
開催方法：オンライン会議
参 加：11 館
 - ・近畿ブロック会議
開催日時：2022年2月17日（木）13:00～15:30
開催方法：オンライン会議
参 加：6 館
 - ・中四国ブロック会議
開催日時：2021年12月17日（金）12:50～16:30
開催方法：オンライン会議
参 加：10 館
 - ・九州ブロック会議
開催日時：2021年12月16日（木）13:30～16:00
開催方法：オンライン会議
参 加：13 館

2-4. 国内科学館研修

加盟館の活動の一層の充実を図るため、国内科学館研修を実施しました。2021年度も前年同様新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催としました。また国内科学館研修動画をYouTubeに限定公開しました。

① 第1回国内科学館研修

開催日時：2021年10月8日（金）14:00～15:20
開催方法：Zoom ウェビナー

参加者：約 100 名

テーマ：「港区立みなと科学館 オンライン視察」

主な内容：2020 年 6 月に開館した港区立みなと科学館（東京都港区）の視察をオンラインで実施しました。開館にあたっての工夫などを館のご担当者からご紹介し、常設展示コーナーをライブ中継したほか、チャットに寄せられた質問に担当者が回答しました。

協力：港区立みなと科学館

② 第 2 回国内科学館研修

開催日時：2022 年 1 月 28 日（金）15:00～16:10

開催方法：Zoom ウェビナー

参加者：約 80 名

テーマ：「青森県立三沢航空科学館 リニューアル事例紹介」

主な内容：2021 年 4 月に約 5 ヶ月間のリニューアル工事を経てオープンした青森県立三沢航空科学館（青森県三沢市）の事例紹介をオンラインで実施しました。リニューアルにあたってのコンセプトや新規に設置した注目展示などを紹介したほか、チャットに寄せられた質問に担当者が回答しました。

協力：青森県立三沢航空科学館、青森県庁

2-5. 海外科学館研修

新型コロナウイルス感染症の状況により海外渡航を伴う視察が難しいことから、連携協としてアジア太平洋地域科学館協会（ASPAC）に加入し、ASPAC が実施するオンライン研修を加盟館に提供しました。また、以下 2 件のセミナーについては研修内容を和訳して加盟館に提供しました。

- ・科学コミュニケーションが抱える課題

Pain Points in Science Communication

- ・科学館は SDGs 達成にどのように貢献できるか

How Can Science Centers Contribute to a Better World?

2-6. 相互人材交流事業

各加盟館がもつノウハウやスキルを相互に学び合い、人材交流をきっかけに実施館同士が継続的かつ自発的な交流を図ることをねらいとして、希望館と事務局が調整を行う、短期人材交流の実施を検討いたしました。2020 年度に続き 2021 年度においても、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、実施を見送ることを連絡しました。

3. 協賛事業

3-1. 協賛物品等

加盟館に対して募集を実施し、下記企業より物品提供を行いました。

2021年度は感染拡大防止のための一時閉館やイベント実施変更などが続き、例年と比較して希望は減少しましたが、希望数を提供しました。

- ・マブチモーター株式会社（モーター）：22館 2,980個提供

3-2. 白川英樹博士特別実験教室全国展開事業

導電性プラスチックに関する実験教室の全国展開について下記の通り実施を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ次年度へ延期することとしました。

- ・「導電性プラスチックを作ろう！透明フィルムスピーカーへの応用」

実 施 館：体験型子ども科学館 O-Lab（大分県大分市）

協 賛 会 社：株式会社クレハ

- ・「導電性プラスチックを作ろう！二次電池への応用」

実 施 館：京都市青少年科学センター（京都府京都市）

協 賛 会 社：旭化成株式会社

以 上